

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【有形民俗文化財】《1》

NPO 法人 奈良まほろばソムリエの会  
保存継承グループ 作成

<p>有形民俗文化財：西大寺奥院納骨堂及び納入資料＝奈良市西大寺野神町1丁目6の10、奈良市西大寺芝町1丁目1の5 指定 2001年3月30日、調査 2021年7月21日 所有者・管理者＝西大寺 【当面の課題】倒壊予防対策がなされ今後の対応も考慮されていると聞いた。構造上困難が予想されるが、現状からみて早急な実行を望む。</p>
<p>有形民俗文化財：丹生神社題目立詞章残闕（「巖島」）＝奈良市丹生町 指定 1990年3月9日 所有者・管理者＝丹生神社 調査見送り</p>
<p>有形民俗文化財：奈良の瓦作り用具＝大和郡山市矢田町545、奈良県立民俗博物館 （元：奈良市西新在家町、瓦宇工業所） 指定 1997年3月21日、調査 2021年10月10日 所有者・管理者＝奈良県 【今後の課題】保管場所は、博物館2階の元執務室であり、防火対策や防虫対策、断熱材等はない。修復や防虫・防腐処理を行い、収蔵設備が整った施設に收容する必要がある。</p>
<p>有形民俗文化財：奈良県の牛耕用具＝大和郡山市矢田町545、奈良県立民俗博物館 指定 2007年3月30日、調査 2021年10月10日 所有者・管理者＝奈良県 特に課題なし</p>
<p>有形民俗文化財：大和万歳資料＝大和郡山市矢田町545、奈良県立民俗博物館 指定 2013年3月29日、調査 2021年10月10日 所有者・管理者＝奈良県 特に課題なし</p>
<p>有形民俗文化財：翁舞関係資料（長命茂兵衛旧蔵）＝大和郡山市矢田町 指定 1995年3月22日 所有者・管理者＝今国府杵築神社宮座、小林杵築神社宮座共有 調査見送り</p>
<p>有形民俗文化財：石上神宮祭礼渡御図絵馬＝天理市布留町348番地 指定 1988年3月22日、調査 2021年3月19日 所有者・管理者＝石上神宮 【今後の課題】元興寺文化財研究所が永享4年（1432）銘祭礼渡御図絵馬の保存修復（剥落防止）を実施している。拝殿の貞享4年（1687）銘の祭礼渡御図絵馬にも対策が必要。</p>
<p>有形民俗文化財：応安連歌新式等並びに天神御影＝桜井市初瀬 指定 1961年8月17日 所有者・管理者＝長谷寺 調査見送り</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【有形民俗文化財】《2》

<p>有形民俗文化財：六斎念仏供養板碑＝五條市畑田町  指定 1991 年 3 月 8 日、調査 2020 年 11 月 22 日  所有者＝西福寺、管理者＝西福寺檀家総代  【当面の課題】西福寺墓地には「六斎念仏供養板碑」に加え、同じ室町期制作の灯笼に似た五條市指定建造物「地藏六面石どう」がある。両方合わせた説明板設置が望まれる。</p>
<p>有形民俗文化財：陀々堂の鬼面＝五條市畑田町  指定 2015 年 3 月 27 日、調査 2020 年 11 月 22 日  所有者＝念仏寺、管理者＝市立五條文化博物館  特に課題なし</p>
<p>有形民俗文化財：鴨都波神社祭礼渡御図絵馬＝御所市宮前町 514  指定 1996 年 3 月 22 日、調査 2020 年 7 月 25 日  所有者・管理者＝鴨都波神社  【今後の課題】現在は色や絵が良く残っているが次第に劣化するので、現在の状態のレプリカを作成して置くことが必要か。</p>
<p>有形民俗文化財：乙田浄瑠璃・芝居資料＝生駒市萩の台 1071、石福寺境内  指定 2007 年 3 月 30 日、調査 2020 年 7 月 25 日  所有者・管理者＝萩の台文化財保存会  【今後の課題】浄瑠璃本や衣装などは、防虫剤や湿度に気を使いながら年 1 回虫干しを行っている。雨漏りや停電対応の課題が残る。</p>
<p>有形民俗文化財：當麻寺本堂（曼荼羅堂）信仰資料＝葛城市當麻  指定 1973 年 3 月 15 日  所有者・管理者＝當麻寺  調査見送り</p>
<p>有形民俗文化財：傘堂＝葛城市染野 726 番地  指定 1985 年 3 月 15 日、調査 2020 年 9 月 19 日  所有者・管理者＝新在家、染野、今在家地区  【今後の課題】指定に漏れた阿弥陀の追加指定はできないか。</p>
<p>有形民俗文化財：染田天神講連歌堂＝宇陀市室生染田 275（春日神社内）  指定 1989 年 3 月 10 日、調査 2021 年 3 月 10 日  所有者・管理者＝染田区  【当面の課題】境内に「染田天神」の説明板や、連歌堂内に国重文の天神講連歌関係資料が保管されているが、連歌堂の県指定文化財の説明板はない。  【今後の課題】国指定・県指定を併記した説明板があってもよいかと思う。引き続き連歌の里として、伝統文化を継承していただきたい。</p>
<p>有形民俗文化財：ナモデ踊り関係資料＝生駒郡安堵町東安堵 1379  指定 1984 年 3 月 14 日、調査 2021 年 3 月 19 日  所有者・管理者＝飽波神社  【当面の課題】奈良県指定文化財として公開されているデータで、員数が 25 点となっているのを 115 に訂正する。拝殿前に設置された説明板の文字を濃くして読みやすくする。</p>

◆「奈良県指定文化財調査」課題記入表 【有形民俗文化財】《3》

<p>有形民俗文化財：結崎のおかげ踊り絵馬＝磯城郡川西町結崎 68  指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2020 年 9 月 19 日  所有者・管理者＝糸井神社  【今後の課題】奉納絵馬全般の課題として、絵具の剥落など補修の問題、温度、湿気など保管環境の問題を解決することが必要。</p>
<p>有形民俗文化財：結崎の太鼓踊り絵馬＝磯城郡川西町結崎 68  指定 1994 年 3 月 25 日、調査 2020 年 9 月 19 日  所有者・管理者＝糸井神社  【今後の課題】奉納絵馬全般の課題として、絵具の剥落など補修の問題、温度、湿気など保管環境の問題を解決することが必要。</p>
<p>有形民俗文化財：屏風のおかげ踊り絵馬＝磯城郡三宅町屏風 115  指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2020 年 10 月 14 日  所有者・管理者＝杵築神社（屏風杵築神社）  【今後の課題】奉納絵馬全般の課題として、絵具の剥落など補修の問題、温度、湿気など保管環境の問題を解決することが必要。</p>
<p>有形民俗文化財：伴堂（ともんど）のおかげ踊り絵馬＝磯城郡三宅町伴堂 500  指定 1987 年 3 月 10 日、調査 2020 年 10 月 14 日  所有者・管理者＝杵築神社（伴堂杵築神社）  【今後の課題】奉納絵馬全般の課題として、絵具の剥落など補修の問題、温度、湿気など保管環境の問題を解決することが必要。</p>
<p>有形民俗文化財：ナモデ踊り絵馬＝高市郡高取町下子島 405 番地  指定 1982 年 3 月 12 日、調査 2021 年 2 月 4 日  所有者・管理者＝小島神社  【当面の課題】絵馬の収蔵庫はじめ神社境内の整備費用は地元自治会が負担している。収蔵庫を倒木から守る意味を考えると境内の整備費用割合も県と相談していきたい。</p>
<p>有形民俗文化財：黒滝の樽丸製作用具＝吉野郡黒滝村栗飯谷（黒滝村民俗資料館）  指定 2016 年 3 月 28 日、調査 2020 年 9 月 26 日  所有者・管理者＝黒滝村  【当面の課題】資料館としての「黒滝村旧役場庁舎」の案内板はあるが、県の建造物の文化財指定であり、有形民俗文化財の所在を示す案内板が必要。  【今後の課題】樽丸の技術面での後継者不足を、吉野全体で取り組んでいただくことを望む。</p>
<p>有形民俗文化財：天河神社能楽関係資料＝吉野郡天川村坪内  指定 1966 年 3 月 26 日  所有者・管理者＝天河神社  調査見送り</p>

以上